



石岡一高 同窓會 會報

— 発行者 —
石岡一高同窓会
 責任者 金井一夫
 TEL 0299 (22) 413540
 FAX 0299 (22) 6289
 E-mail: daseikai@stokai.kai.jp
 印刷所 高橋印刷



山王台の春を迎えて

同窓会長 金井一夫

平成二十六年度は、母校に新校舎が出来
 上がり、後輩達が、清々しい気持ちで勉学
 に励むことが出来ました。同窓会としても、
 長年の夢がかない、大きな喜びの年であり、
 皆さんと共にお祝をしたいと考えます。同
 窓会が寄贈した校章が、石岡駅から燦然と
 して輝くさまに、先生方も在校生も、大き
 な誇りをもつことでしょう。寒い冬と梅の
 花の季節の中で沢山の卒業生が巣立ち、同
 窓会の戦列に加わった事は誠に芽出たく、
 心強いものを感じます。それぞれの道で本
 校の卒業生として力強い活動を続けられん
 事を心から願っております。ご父兄の方も、
 ホツとした気持ちでおられると存じます。
 今年は未の年です。未は家族の安泰を示し、
 群れる様を表しています。日本のみならず、
 世界全般に及ぶ政情不安や景気の先行き不
 透明感が漂う中、明るく輝く未来を作る為
 に、同窓会と社会の繁栄を切に願うもので
 あります。

又、皆さん、昨年は野球部の大活躍があ
 りました。あれよあれよと思う間に、県大
 会のベスト4になり、準決勝に進みました。
 準決勝では、リードしても、リードしても

同点にされ、残念ながら最終回に逆転され、
 決勝には進めませんでした。しかし、茨城
 県の代表として二十一世紀枠に推薦され、
 春の選抜出場かと、多くの期待がされるよ
 うになりましたが、関東地区で群馬の高校
 が推薦され、甲子園に進むことは出来ませ
 んでした。今年の春も、優れた野球の選手
 達が母校に進学するようであり、数年のう
 ちには、甲子園で校歌を歌える日が来るだ
 ろうと、推測しております。ウエイトリフ
 ティングや農業クラブ等、毎年の様に関東
 大会や全国大会に出場しているようであり、
 今年も春にむかって母校の活躍を祈って私
 の挨拶と致します。





ご挨拶

学校長 藤枝和也

石岡一高同窓会の皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、皆様には、日頃より母校の教育活動にご理解とご支援を賜っており、ことに、心より御礼申し上げます。

本校は、一九二二（大正十一）年に、現在地である府中城土塁の西側敷地に、あたる山王台に移転しました。それからおよそ九十年を経た二〇一四（平成二六）年六月、取り壊された永久校舎跡に待望の新校舎が完成しました。一九五二（昭和二七）年に制定された現在の校歌には、「山王の丘にそびゆる、われらが母校」と謳われています。今後は、校歌に謳われているとおり、山王の丘に建つこの新校舎を舞台として、石岡一高の新たな歴史が刻まれていくものと思います。

現在の本校は、目指す学校像を「一、創立百余年の歴史と伝統を受け継ぎ、普通科と農業系学科の併置校としての特色を生かし、地域の中核として信頼され期待される学校。二、生徒一人ひとりが個性を伸ばし、将来の夢を実現するための知識・技能を身に付け、自身と誇りを持って卒業していく学校。三、学習活動、特別活動などのあらゆる教育活動の場面で、生徒と教職員がともに生き生きとした活力ある学校」と定め、そして「一、進学実績の向上。二、学力の向上。三、人間性の向上」の三つを中期目標に掲げて教育活動を展開しています。本校に学ぶ生徒たちは、校訓「誠実 自治 博愛」の精神のもとに、毎日の学習をはじめ生徒会活動、学校行事、部活動などに生き生きと取り組む、充実した学校生活を過ごしています。

本校の生徒の約八割が卒業後の進路として進学を希望し、約二割の生徒が就職を希望しています。今年度も、茨城大学をはじめとする国公立大学、私立大学に多くの生徒が合格しています。また、求人状況に改善の兆しが見られる中、就職希望者の全員が内定をもらっています。

部活動には約五割の生徒が加入し、活発に活動しています。今年度は、ウエイトリフティング部が全国高校総体に出場し、バドミントン部、弓道部、陸上部が関東大会に出場しました。野球部が夏の県大会でベスト八、秋の県大会ではベスト四に入るなど、多くの部が活躍をしています。また、県定通

体育大会で卓球女子団体が優勝をしています。

農業関係では、農業クラブ大会意見発表区分「環境」で関東大会、農業鑑定競技区分「造園」と平板測量競技で全国大会に出場するなど、本校農業クラブ員の熱心な研究活動と努力が高い評価を得ました。また、造園科の生徒が、技能五輪全国大会造園職種に県代表として出場し、第三位に入賞しています。

本校が現在地に移転した当時は、敷地の大部分が桑園であったそうです。現在では、校内の彼方此方に様々な樹木が繁っています。中でも前庭の楠の大木は、石岡一高のシンボルとして、その高さを新校舎と競うようにして聳

え立っています。大きな堂々とした楠の姿に、長年にわたって積み上げられてきた石岡一高の歴史と伝統を感じます。これからも、この楠の大木と共に新校舎を中心に、石岡一高の生徒たちの多方面での活躍が途絶えることなく、先輩から後輩へと良き伝統として受け継がれていくことを願います。

最後になりましたが、校長として母校に勤務して二年が経とうとしています。この間に同窓会の皆様から賜りました温かいご支援に心より感謝申し上げますと共に、石岡一高同窓会の皆様のご発展と会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



新校舎に想いをよせて

園芸科第四十九回卒 中根綾南

石岡一高を卒業して一年が過ぎました。私が在学当時は、旧校舎と仮設校舎での高校生活でした。旧校舎、仮設校舎で過ごした高校三年間を振り返りますと、これから始まる高校生活に期待と不安を抱え、初めて教室へと足を踏み入れた日のことや友人と勉学や自身の向上のために互いに切磋琢磨しあ

った日々、たわいもない会話に笑いあった日のことが思い出され、石岡一高で過ごした高校生活は何にも変えることのできない宝物となっています。笑顔や涙、様々な思いが詰まった高校生活の中で取り壊された旧校舎への寂しさ、新校舎への期待も感じながら、完成へと近づく新校舎を瞳の端に卒業



同窓会総会報告

●平成二十六年年度

を迎えました。
卒業した今、力強く凛とした新校舎が完成しました。ガラス張りの校舎に差し込む太陽の光、窓から見える緑と吹き抜ける爽やかな風が輝かしい高校生活を送るために適した環境であるという印象を受けました。そんな素晴らしい校舎で過ごすことができる在校生

の皆さんには、三年間のかけがえのない高校生活を精一杯過ごし、石岡一高の百年の伝統と歴史、新校舎とともに新たな歴史を築き上げてください。
最後になりましたが、石岡一高のますますのご発展と先生方や在校生の皆さんのご活躍をお祈りいたします。

六月五日(土)本校会議室において、二十六年年度の同窓会総会を開催いたしました。総会では二十五年年度の一般事業報告・決算報告、二十六年年度の事業案・予算案を議決いたしました。その後、同日、場所を移して石岡プラザホテルにて卒業五十周年祝賀会を開催いたしました。今回は二十四名の方々に出席いただきまして、現況や高校生当時の思い出をお話しいただきました。
同窓会員の皆様におかれましては、一連の取り組みにご理解とご支援を賜りありがとうございます。なお、今年度の役員はそれぞれ、次のようになりました。

役員体制

会 長	金井 一夫 (49回卒)
副会長	岩田 正 (39回卒)
	石神 彰 (40回卒)
	磯部太郎平 (51回卒)
	大和田智弘 (52回卒)
監 査	神生 賢一 (60回卒)
	岡田 早苗 (32回卒)
	坂本 秀夫 (55回卒)
	長谷川重幸 (60回卒)

役員の変動

卒業回数別代議員 (第10回卒)

平成26年3月卒

青木 誠 (石岡市)
中島 悟史 (石岡市)

平成二十六年年度の主な事業

4月11日(金) 山王神社祭礼
(同窓会主催)

7月5日(土) 同窓会総会

卒業50周年祝賀会

11月22日(土) 山王神社祭礼
(町内会主催)

◎お詫びと訂正

「石岡一高同窓会会報」第44号において、「役員体制」副会長「神生秀夫」とありましたが、正しくは「神生賢一」でした。こゝにお詫びして訂正いたします。申し訳ありませんでした。

卒業五十周年祝賀会を 七月五日に開催

卒業五十周年祝賀会を七月五日(土)に開催しました。この事業は昭和四十八年から先輩招待祝賀会として発足し、その後本校卒業五十周年を記念する行事へと発展し、今日に至っております。今年の招待者は五十三回(昭和三十九年卒)卒業生で、出席者は二十四名でした。二十七年度は卒業五十周年祝賀会を七月四日(土)に開催いたしますので多くの方の出席をお願いいたします。



山王台 点描

硬式野球部

走姿 顕心 全員野球

川井 政平

石岡一高に赴任し、今年で八年目になります。現在は普通科二年生の担任をさせて頂いております。野球部の監督としては二年目の秋からさせていただきました。今のチームで六年目の夏を迎えようとしています。私は生まれは旧八郷町ですので、七年前石岡一高に赴任するに当たり、地元にある学校ということで胸が高鳴った記憶があります。このたび同窓会誌に寄稿せよというお話をいただき、何を書けばいいのか迷いましたが、野球を通しての生徒との関わりなどを書かせていただきます。と思います。

まず赴任した時の私は当時三十三歳でした。二十代は生徒と情熱のみでぶつかり合っていました。しかし二十代後半から徐々に自分の指導に行き詰まり、迷いの中にいたような気がします。



そんな時に石岡一高に赴任し、それは自分にとって大きな転機となりました。

まず、前任校での指導法は通用しませんでした。そこで自身の指導を見つめ直し、その中で見えてきたことがあります。過去を振り返ると、何よりも勝利を優先し、生徒一人一人を本当の意味で見えていなかったことに気付きました。自分がしていたのは体裁と見栄を優先させた指導でした。いやとても指導とはいえないものでした。「これをしたらチームが負ける」「こんなこともできないのか」「野球部なのだからこんな風に思われたくない」といった具合です。そこからは個人の成長とそれに伴った主体性は生まれることはないと思います。

石岡一高の生徒は素直で穏やかで何事にもまっすぐに取り組みます。生徒たちにもっと自信と向上心を持たせることができればさらに潤いのある人生を送れるのではないかと。チーム全体を見ることも大事ですが、生徒の顔や会話、動きに着目して、個の成長を最大限に伸ばせる指導に心を注ぐことにし

ました。

幸い近年徐々にではありますが、チームも力をつけて参りました。先生方や保護者の方々、地元の方々の様々な応援があつてのことと感謝しております。また、石岡一高同窓会の方々、殊に野球部OBの先輩方からは物心両面に渡り選手たちをサポートしていただいております。感謝の念に堪えません。これから三年生にとっては最後の夏の大会が控えています。甲子園出場を果たすことが恩返しとなります。彼らが大人になったときに、野球があつたから今の自分がいるといえるような三年間にしていけるよう、サポートしていきたいと考えます。最後になりますが、常に心がけていることを述べて終わりにさせていただきます。

どのような力をつけたいか、正しい練習か、努力していると思ひ込んでないか、これでいいという安易な考えは



ないか、過大評価はしていないか、自己肯定感、自己受容があるか、人に優しいか、傲慢になっていないか、などです。それらを選挙、そして何よりも私自身に問いかけ、これからも研鑽していきたいと思ひます。

バレーボール部

【男子バレーボール】

・平成26年度関東高等学校

男子バレーボール大会県大会出場

【女子バレーボール】

・平成26年度関東高等学校

女子バレーボール大会県大会出場

・平成26年度高校総体

女子バレーボール大会県大会出場

ソフトテニス部

・関東大会地区予選

男子個人（大野・石井ペア）ベスト16

・全国大会地区予選

男子個人（大野・石井ペア）ベスト16

・県南選手権大会

男子個人（石島・竹内ペア）ベスト16

・地区新人大会

男子団体 5位

男子個人（石島・竹内ペア）ベスト16

・県新人大会

男子団体 ベスト16

バドミントン部

・関東大会県予選

男子団体 第3位

女子団体 第4位

- ・インターハイ県予選
男子団体 第3位
女子団体 ベスト8
- ・県新人大会
男子団体 第3位
女子団体 第3位

- 男子ダブルス 第3位 中村・寺岡
- 女子ダブルス 第3位 成山・飯村

ウエイトリフティング部

私たちウエイトリフティング部は男子6名・女子5名で活動しております。今年度は、6月に高崎市において関東大会が開催され、3年の56kg級小山純平が6位に、女子58kg級井野由貴が2位に入賞しました。茨城県開催の関東大会でしたので、とても活気ある大会でした。さらに、全国高校総体には小山が出場し力をだしきってきました。1月の関東選抜大会では、1年生の5名がそれぞれ入賞し、69kg級熊谷謙志が4位、85kg級中山祐一が7位、105kg級宇津木泰生が3位、女子48kg級沢里璃奈が7位、女子63kg級飯塚美悠が5位と、来年度の活躍を期待できる結果となりました。

卓球部

- ・関東大会県南予選
男子団体 3位・女子団体 3位
女子シングルス
今野 七美 優勝
半山沙耶香 準優勝
- ・高校総体県南予選

- 男子団体 3位・女子団体 3位
- ・全日本ジュニア県南予選
女子シングルス
今野 七美 ベスト8
女子ダブルス
今野七美・矢口由佳 準優勝

- ・県南地区新人戦
男子団体 2位・女子団体 3位
男子ダブルス
土田偉史・佐久間智基 3位
女子シングルス
今野 七美 3位
女子ダブルス
今野七美・矢口由佳 3位

- ・県新人団体戦
男女共 ベスト16
- ・県大会新人戦
男子ダブルス
石黒匠・小林洗平 ベスト16

- ◎栃木・埼玉交流戦茨城県選抜
強化選手 今野七美が選出

バスケットボール部

- ・関東大会県南A地区予選会
男子一回戦 石岡一80-77土浦湖北
二回戦 石岡一36-92霞ヶ浦
女子一回戦 石岡一78-50霞ヶ浦
二回戦 石岡一45-75中央
- ・高校総体県南A地区予選会
男子一回戦 石岡一42-91霞ヶ浦
女子一回戦 石岡一75-54霞ヶ浦
二回戦 石岡一70-84土浦三
- ・新人大会県南A地区予選会
男子一回戦 石岡一59-87石岡二

剣道部

- 女子一回戦 石岡一47-66霞ヶ浦
- ・関東大会予選
【団体戦】
男子・女子団体出場
【個人戦】
男子4名出場・女子3名出場

- ・全国高校総体県予選
【団体戦】
男子・女子団体出場
【個人戦】
男子2名出場・女子2名出場

陸上競技部

- ・県南地区大会 H26・4/24-26
【男子】
1500m決勝 3年・宮本 第15位
5000m決勝 3年・宮本 第9位
【女子】
1500m決勝 3年・滝田 第3位
3000m決勝 3年・滝田 第3位

- ・県大会 H26・5/21-24
【男子】
5000m決勝 3年・宮本 第31位
【女子】
1500m予選 3年・滝田 第5位
3000m決勝 3年・滝田 第27位

- ・県選手権 H26・7/4-6
【女子】
1500m予選 3年・滝田 第7位
3000m決勝 3年・滝田 第4位

- 3000mSC決勝 3年・滝田 第4位
決勝12分24秒78

- 5000m決勝 3年・滝田 第12位
決勝18分25秒47
- ◎滝田5000m関東選手権出場権獲得
・県学年別 H26・7/18・19
【男子】
2・3年5000m 3年・宮本 第25位 16分14秒15

- 【女子】
2・3年3000m 3年・滝田 第22位 10分46秒37
- ・関東陸上競技選手権大会
H26・8/29-31

- 【女子】
5000m決勝 3年・滝田 第20位
決勝19分55秒19
- ・県南新人大会 H26・9/11-13
【男子】
3000mSC 2年・吉田 第7位
【女子】
1500m 2年・小林 第8位

- ・県新人大会 H26・9/25-27
【男子】
4×100mR
貝塚・三好・吉田・金子
予選48秒84

- 3000mSC 2年・吉田
予選10分53秒52
- 【女子】
1500m 2年・小林
予選5分10秒11

- ・県駅伝 H26・10/30
【女子】 県南合同
2年・小林(第5区 5.0K)
19分53秒(区間9位)

サッカー部

《関東高校サッカー大会》

・地区予選

一回戦 対江戸崎総合 5対0

二回戦 対土浦湖北 1対0

・県大会

一回戦 対古河一 0対5

《インターハイ》

・地区大会

一回戦 対牛久 3対0

二回戦 対藤代紫水 1対2

《高校サッカー選手権大会》

・地区大会

一回戦 対土浦工業 0対0

延長 0対0

PK 3対4

《新人大会》

・地区大会

一回戦 対藤代 2対3

弓道部

・参加大会（県大会以上）

①関東大会県予選（女）

②全国大会県予選（男・女）

③関東個人選手権県予選（男・女）

男子・石塚圭介（2年）、女子・

長峰衣里（3年）が共に県6位入賞、

第33回関東個人選手権大会（明治神

宮）への出場権を獲得したが、残念

ながらデング熱の影響で本大会中止、

④全国選抜大会県予選（男）

⑤茨城県冬季大会（男・女）

男子・高橋栄一（1年）が8射皆

中し、射詰めの結果優勝。

また、長峰は今年度団体選手補欠に選考され、積極的に練習に参加した。

今年度は地区大会での団体個人共に上位入賞に加え、県大会での入賞や県の代表に選出されたことが大きい成果である。他に、一般主催の大会等へも積極的に出場している。また、各自昇段審査に挑み、2年生は初段を、1年生は2級を取得した。

柔道部

・関東県南予選

男子無差別級 根本勇樹 3位

女子57kg超級 櫻井愛美 3位

豊島知穂 3位

・関東大会県予選

男子団体 ベスト16

女子団体 ベスト8

女子57kg級 塚本友美 ベスト8

・全国大会県予選

男子団体 ベスト16

女子団体 ベスト8

女子57kg級 塚本友美 ベスト8

・県南選手権大会

男子団体 Aチーム 4位

男子60kg級 森谷 聡 3位

男子73kg級 山本優磨 3位

男子81kg級 荒原裕貴 3位

男子90kg級 堀口健太 3位

・県南新人大会

男子団体 3位

男子60kg級 森谷 聡 3位

男子60kg級 栗原拓海 3位

男子66kg級 畑澤瑞生 3位

男子73kg級 山本優磨 3位

男子81kg級 荒原裕貴 3位

男子81kg級 堀口健太 2位

女子無差別級 塚本友美 3位

・県新人大会

男子団体 ベスト16

・全国高校選手権県予選

男子団体 ベスト16

文芸部

今年度は部員数も増えて二十八名で活動しています。

部誌「クリエイト」で生徒たちの小説や詩、イラストなどを発表しています。今年度は、春・文化祭・夏・秋と、四回発行することができました。

また、生徒会に協力して、石岡の七夕祭りに参加したり、生徒会のパンフレットにイラストを提供したりと、活動の幅を広げています。

写真部

・平成26年度茨城県高等学校

総合文化祭写真展入選

二年 石井 陽久・庭野 詩夢

萩原 俊也・吉田 拓矢

相澤 恭平・佐藤 尚樹

夏の全国総文祭いばらき大会では、

本校の齋藤綾香（3年）と石井陽久

（2年）の両名が実行委員として準

備から大会本番まで活躍しました。

全国から集ったたくさん写真部員

達をしつかりおもてなしすることができました。

演劇部

・県南A地区高等学校演劇祭

優秀賞を受賞

・「いばらき総文」に

実行委員として参加

・映画「幕が上がる」に出演

高校演劇を扱った「ももいろクロー

バーズ」主演の青春映画「幕が上がる」に部員たち全員で出演を果たしました。「いばらき総文」の準備・本番のシーン、実行委員役で多くの部員たちの姿が映っています。

音楽部

《吹奏楽》

・茨城県吹奏楽コンクール県南地区大会高等学校Bの部優良賞

・県南地区高等学校音楽祭

その他、石岡市商工祭やまちかど音楽祭など市のイベントにも積極的に参加しています。人数が少ないですが、

パワフルな演奏をお届けしています。

《台唱》

昼休みに活動しています。他の部との兼部も多いのでコンクールには出て

行けませんが楽しく活動しています。

人数が少ないのが悩みです。

茶華道部

茶華道部は、龍生派華道と表千家茶

道の練習を山王会館にて練習していま

ず。

華道では、季節の花を取り入れながら生け花やフラワーアレンジメントを楽しみ、校内に飾ったりしています。茶道では、お茶の点て方や礼儀作法など日本独自の文化を学び、将来に生かせるよう努力しています。

将棋部

・春季大会団体戦 2勝3敗
・春季大会個人戦

郡司直弥 2勝2敗 (B級)
佐藤 駿 2勝2敗 (B級)
加古直樹 2勝2敗 (B級)
・夏季大会個人戦 (竜王戦)

郡司直弥 1勝3敗 (B級)
佐藤 駿 1勝3敗 (B級)
加古直樹 2勝2敗 (B級)
石井 諒 1勝3敗 (B級)
・段位認定将棋大会

加古直樹 2勝3敗 (B級)
石井 諒 2勝3敗 (B級)
・秋季大会個人戦
加古直樹 3勝2敗 (B級)
石井 諒 2勝3敗 (B級)

JRC部

私たちJRC部の主な活動は、月に数回放課後に保育園を訪問し、子ども達と遊びを通して一緒に活動していることです。また、絵や折り紙で月の行事を表現したカレンダーを制作し、保育園に届けています。

その他にも、長期休業中には、市内

の幼稚園で一日保育ボランティアに参加したり、障害者支援施設で開催される納涼祭や運動会など様々なボランティアにも参加しました。青少年赤十字・青年赤十字奉仕団交流会では、大学生や他校のJRC部の方々と交流することができました。

このような活動に参加することで勉強になることが沢山ありました。これからも積極的に活動したいと考えています。

英語部

私たち英語部は、町井先生・森島先生・菅野先生のご指導のもと、一年生1名、二年生9名の計10名で活動しています。

主な活動日は毎週木曜日で、11月に行なわれる「茨城県高等学校英語暗誦大会」に出場するための練習や英語検定に向けてのリスニング練習をしています。昨年度の暗誦大会には、部を代表して現二年生から1名が出場し、立派に発表を行いました。

その他にも、買い物などで必要な英会話を学んだり、英語の歌を聴いたり、「ハリポッター」シリーズの映画を吹き替えでなく、俳優さんたちの生の声で鑑賞するなどして楽しんでます。今年もこのような様々な活動を通して、多くのことを学び、実践的な英語力を高めることができるように頑張りたいと思います。

園芸部

園芸部は園芸科と造園科の8名が、主に第二農場に実習に来た時の昼休みを中心に栽培管理を行いました。

今年には新校舎が完成して新しい昇降口に育てたメランポジュームや日々草などをプランターに植えて装飾しました。

また冬にはクリスマスの装飾をしました。もみの木にクリスマス飾りをつけ、四つの花壇にミニシクラメンやアリッサム、シロタエギクなどを植えて華やかにしました。

これからも石岡一高を草花で華やかに装飾していきたいです。

造園部

平成26年度の造園部の活躍は近年例を見ないものでした。農業クラブ全国大会出場、技能五輪全国大会銅メダル受賞が大きな活動でした。その他、本校のシンボルツリーであるクスノキの周りを金閣寺垣で囲んだり、校長室前の四つ目垣と校歌の石碑までを飛び石の園路を作り、近づけるようにしたりしました。技術は一年生にも伝承され、更なる高みを目指し活動を続けます。

(活動記録)

- ・茨城県学校農業クラブ連盟大会
- ・平坂測量競技最優秀賞
- ・全国学校農業クラブ沖縄大会
- ・平坂測量競技出場
- 3年 安部修平 小林賢也

宮本 駿

・技能五輪全国大会愛知大会
造園職種 銅メダル受賞

立原洋太(卒業生)

小林 匠(3年)ヘア
・金閣寺垣施工 3年(クスノキ周り)
・四つ目垣・園路施工 1年(校長室前)

バイオ部

バイオ部では、農業クラブ県大会に向け、鑑定競技やプロジェクト発表、意見発表などの各種競技会に向けて練習を重ねています。

また、まちづくり大賞など、校外での大会や行事にも多く参加しています。十分な施設が備わっていないため大きな研究はできませんが、各大会に向けて良い成績が残せるように頑張りたいと思います。

ダンス同好会

管公学生服株式会社主催

第4回カンコーくるくる
ダンスコンテスト応募

自動車部

今年は、顧問の先生も変わり、部員は、園芸・造園の三年生で、資格取得を目標にして活動しました。私は、部長として、第二農場で昼休みや放課後を部活動の時間として、フォークリフトの練習をして、満点の成績で合格することができました。又、小型車両系建設機械の資格取得に取り組んだ部員

もいます。定時制の先生も一緒に受講して、全員で合格することができました。年齢に関わらず、資格は必要だとわかりました。自分の為、進学・就職の為に大事だと思いました。後輩の皆さん、普通科でも定時制でも資格取得にチャレンジしてみてください。石岡一高の取り組みは、他で出来ない体験と資格となります。

書道同好会

- ・全日本書初め大展覽会(出品)
- ・ふれあい書道展(出品)
- ・高校生国際美術展(出品予定)

美術部

- ・第38回全国高等学校総合文化祭
美術・工芸部門県内作品選抜展
高柄晴菜(二年六組)
- ・渡邊明花(二年八組)
- ・平成26年度茨城県高等学校
総合文化祭美術展覧会 入選
菅谷佳奈(二年四組)
- ・高柄晴菜(二年六組)
- ・渡邊明花(二年八組)
- ・高久麻矢(三年四組)
- ・第69回県南高等学校連合美術展
作品出品 8名



●2014年 山王祭

平成25年度

進路状況

(過年度卒を含む)

国公立大

6名

茨城大3名/茨城県立医療大1名
/島根県立大1名/会津大1名

私立大

151名

亜細亜大3名/茨城キリスト大10名
/江戸川大1名/神奈川大2名
/川村学園女子大4名/工学院大1名
/国際医療福祉大1名/国土館大3名
/駒澤大1名/駒澤女子大1名
/埼玉工業大1名/相模女子大2名
/実践女子大1名/秀明大3名
/淑徳大4名/順天堂大1名/城西国際大2名
/成蹊大1名/聖徳大4名
/大正大3名/拓殖大1名
/千葉科学大4名/千葉工業大4名
/千葉商科大1名/筑波学院大1名
/つくば国際大11名/帝京大10名
/帝京平成大3名/東海大1名
/東京電機大6名/東京農業大1名
/東京福祉大1名/東洋大5名
/常磐大13名/獨協大3名/二松学舎大3名
/日本大4名/日本ウェルネス大1名
/日本体育大1名/日本橋学館大1名/日



本文化大1名/文教大1名/法政大1名
/武蔵野大1名/明星大1名/ヤマザキ学園大2名
/立正大7名/流通経済大6名
/麗澤大7名

短大

21名

常磐短7名/茨城女子短4名/つくば国際短3名
/聖徳大短大3名/東京農業大短大1名
/帝京短1名/昭和学院短1名
/戸板女子短1名

就職者

60名

専門学校

83名

(会報題字)

嶋 正守氏(書家、第三十九回卒)